

RPPC メールマガジン 第 853 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 12 月 16 日）

■事務局からのお知らせ

NPO法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付しました。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.3D水中施工管理システム開発、りんかい日産ら

りんかい日産建設、ペーパーレススタジオジャパンはこのほど、港湾工事における水中作業を可視化する施工管理システム「3D水中施工管理システム」を共同開発した、と発表した。

同システムはUSBL方式水中潮位装置（トランシーバーとトランスポンダによる音響信号の送受信により相対位置を計測する装置）を用いて、ブロック据付作業による「潜水士の安全」や、「ブロック誘導」による作業の効率化と水中作業の進捗状況を管理することができる。

今年 11 月に国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録済み。

2.国土強靱化、港湾等で5カ年加速化対策。重点的・集中的に予算投入

政府は12月11日、来年度から令和7年度までを期間とする防災・減災、国土強靱化のための「5カ年加速化対策」を閣議決定した。3カ年緊急対策（2018年度～2020年度）に続き、防災・減災、国土強靱化対策を推進するため、「激甚化する風水害や逼迫する大規模地震等への災害対策」、「予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策」、「国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進」を柱とし、123の対策を位置付けた。追加的に必要となる事業規模は15兆円程度を目指しており、今年度第3次補正予算から予算措置を講じる。港湾では津波対策、耐災害性強化対策（高潮・高波、地震等）、老朽化対策、港湾のデジタル化などに取組む。

3.徳島小松島港赤石地区第2バースの延伸、3年度事業に要望中

徳島県は徳島小松島港赤石地区における港湾機能の強化を、直轄事業として令和3年度要求に挙げている。赤石岸壁は水深13mの多目的国際ターミナルで岸壁延長260m×2バース（総延長520m）が港湾計画に位置付けられている。現状は第1バース260mが供用しているが、第2バースは約半分の125mの整備にとどまっております、385mでの運用になっている。

徳島小松島港赤石地区は近年、取扱貨物量が増えており、週3便のコンテナ船（釜山航路2便、神戸港を通じた国際フィーダー航路1便）が入港している。また、パルプ・製紙工場向けの大型チップ船が定期的にご利用している。更にクルーズ船の入港もあり、沖待ちが発生するなど港湾機能に支障が出ている。

4.石狩湾新港西地区国際物流ターミナル、事業期間を7年延長

北海道開発局の事業審議委員会が石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業の再評価を行い、事業継続を了承した。総事業費は約47億円増加し549億円、事業期間は7年延びて令和11年度までの予定になった。残事業費は116億円、整備進捗率は79%となっている。

同事業ではバルク貨物船の大型化に対応するため、大水深岸壁の整備により背後に立地する企業の輸送コストを削減し、物流の効率化を進めている。

※港湾空港タイムス12月14日号から編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください